



議会だより

あまぎ

令和5年
6月定例会

令和5年7月25日
第128号



第36回 2023 トライアスロンIN徳之島大会

目次

- | | |
|---------------------------------|-----|
| ● 一般質問 | P 2 |
| ● 第64回 奄美群島市町村議会議員大会／美化活動 | P14 |
| ● 美化活動 | P15 |
| ● 令和5年6月定例会／編集後記 | P16 |



松山小百合
議員

病児・病後児保育実施について

問 共働きが当たり前になりつつある社会において、子育て世帯の未就学児の体調不良時に病児保育・病後児保育のニーズの高まりにおける、町の見解を問う。

答 子育て世帯の多くが共働きになっており、病児・病後児保育のニーズは高まっている。本町では現在、徳之島町にあるNPO法人に委託し、病児保育・病後児保育事業を実施している。事前予約制で、当日診察、1千円で利用することができる。利用者の増加に伴い、多様な保育のニーズに対し、弾力的な事業の実施に取り組みたい。

うおっちょの運営の進捗について

問 うおっちょ開設における目的、営業実績の進捗状況、今後の商品展開について問う。

答 開設の目的は、水産物及びその加工品、地域の特産品や水産物を主たる材料とする飲食物の販売、本町の水産業の振興、水産物の消費の拡大及び交流人口の増加、漁業者の所得向上を第一に考え、地域の活性化を目的として開設した。営業実績の進捗状況については、オープンしてから



水産業振興拠点施設「うおっちょ」

約1か月で売上が約140万円となっている。今後の商品展開については、海鮮丼や刺身定食の提供を検討しているが、獲れたての魚を使用するので、その日の仕入れ状況により提供できない日もあるもので、メニューによっては、液体急速冷凍機を使用して保存し、毎日新鮮な状態で提供できる体制を整える。今後は、ふるさと納税やネット販売を視野にいれ商品開発を行っていききたい。

本町の災害対策について

問 大きな地震が頻発している昨今、南西諸島海溝に近い奄美群島においても大規模災害を想定した備えが必要不可欠であるが、町の施策と見解を問う。

答 いつ、どこで発生するかわからない大規模自然災害に備え、町土の強靱化並びに防災・減災対策は喫緊の課題である。「天城町国土強靱化地域計画」及び「天城町地域防災計画」に基づき、令和4年度には前野と西阿木名の指定避難所の防風・防水対策・バリアフリー化など、施設の機能強化を行った。今後も年次的に各集落避難所の機能強化と安全衛生面の充実につとめる。全集落の自主防災組織の強化を図り、発災対策型防災訓練の実施も視野に入れ、「天城町防災アプリ」をはじめ防災情報の多重化で迅速かつ的

確な伝達に努め、町土の保全と町民の安心・安全を全力で取り組んでいく。



大吉皓一郎
議員

創生天城について

問 世界自然遺産に係る取り組み（赤土汚染・家畜し尿・牧草の落下対策）について。

答 赤土汚染については、県と協力体制をとりながら大雨時の町内パトロールにより赤土流出箇所の把握に努めている。畦畔からの排水口に袴ブロックの設置及び法面保護のための植栽対策（浅間地区は花を植えている）など行っている。家畜のし尿については、圃場への還元と堆肥センターでの加工により処理されている。牧草

の落下対策は畜産部会内では会員から、落下が甚だしいとの意見があり、網・柵等で落ちないような対応をA・Y・T等で周知を図っていく。徳之島を全世界にアピールするためには各関係機関が連携しオール徳之島として取り組んで行く必要がある。適正な管理及び自然資源の保全と利活用を推進し、持続的な地域の振興を図ることを目的とし5月29日、3町長をトップとした「徳之島世界自然遺産推進協議会」を作った。

問 中央地区の活性化（老朽化した空き家・道路関係）について。

答 商店街の活性化や景観などについて検討がされている。所有者から相談があった時は、補助事業の活用や利活用について検討していく。「平土野集落の未来を共に考

える」をテーマに奄美イノベーショナルの山下代表、天城出身で税理士の田井一郎さんが発表し、2人をリーダーとした「平土野集落活性化チーム」を結成し空き屋を改修し宿泊施設2棟・商店3店舗を整備する計画。平土野2号線の水路は調査結果を踏まえ令和6年に改修する。天城前城3号線（天城公民館西側道路）は、現在発注済であり年内完成予定。西側にL型擁壁80m以上でその上にガードレールを入れる。尻田線については筆界未定1件、内務省等となっており、所有者調査をしていく。

教育行政について

問 令和5年1月の県学習定着度調査結果について。

答 小学校5年生、国語・社会・算数・理科の全ての教科において県平均を上回っている。

る。中学1年生は国語・社会・数学の3教科は県平均を上回り、理科・英語は下回り、中学2年生は社会・数学・英語の3教科は県平均を上回り国語・理科は下回る結果となった。学校だよりの中に調査結果があり各学年で家庭学習の目安の時間が設定されている。〈1年生40分、2年生50分、4年生70分、5年生80分、6年生90分〉しっかりとした指導が行われている。

問 子ども会リーダー研修会について。

答 平成28年まで実施していた。3月に行事計画を作るなどとてもいい研修だったと思っている。令和5年度子ども会育成会と計画を練って連絡して復活できるようにしたい。

問 町立図書館の運営について。

答 今年度はプロジェクターを使用した映画鑑賞会や読み聞かせボランティアの募集を行い学び・遊び・交流ができる。町民誰もが気軽に安心して利用できる役立つ図書館として力を入れる。

調べ学習の参考図書は、西側の一般図書の奥の方にある。

鹿児島島の中心街にある複合施設「センテラス天文館」の中で運営されている図書館へは町長、教育長も視察されており広いスペースで心



天城町立図書館

が癒やされる空間となっている。母親が本を読んでいる時に子どもたちが自由に遊べるコーナーもあり、カップ付のコーヒーを持ち歩き集う方々の交流の場となっている。

みんなが健康な町について

問 带状疱疹予防接種費用助成事業要綱と対策について。

答 50歳以上を対象に「天城町带状疱疹ワクチン任意予防接種費用助成に関する実施要綱」を今年4月1日に制定した。予防接種の費用は生ワクチンが1回の接種で8千600円に対し5千円の助成（1回のみ）、不活化ワクチンが1回の接種で2万4千200円に対し1万円の助成（生涯で2回のみ）、不活性化ワクチンの方が効果が高いとされている。50歳から80歳までの3人に1人が発

症すると言われている。日本人成人の90%以上は原因となるウイルスが体内に潜伏している。食事のバランス・睡眠をきちんとするなど日頃から体調管理を心がける。3カ町同じでなく検討する。

水産業の振興について

問 水産業振興拠点施設の概要と運営について。

答 水産業の振興と水産物の消費拡大、漁業者の所得向上を第一に考えた地域の活性化施設。徳之島漁業協同組合（亀津）まで行かず買い上げ分の手数料を支払うシステムとなっている。拠点施設の前庭等は舗装も計画している。弁当箱は見栄えの良い物を使い盛り付け等も工夫・検討したい。



喜入伊佐男
議員

マイナンバーカードについて

問 令和6年度にマイナンバーカードと健康保険証の一体化が予定されているが、国及び県からどのような指導・助言を受け、町はどのように取り組んでいくのか。

答 令和5年6月2日の国会において、マイナンバー改正法案が可決、成立し、令和6年秋に健康保険証を廃止し、マイナンバーカードと健康保険証が一体化となる予定。

指導・助言については、被保険者へマイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴うメリット、安全性等、その意義について理解を求めていくことが重要であるとされている。

本町の取り組みとしては、周知・広報をするためのリーフレットを作成し、今年度の健康保険証の切替時（8月）に同封して、周知・広報を実施する。

各集落にAED（自動体外式除細動器）を設置できないか。

問 町内におけるAED設置数及び設置場所、購入方法（買取り又はリース）、メンテナンスについて。

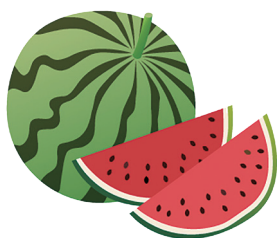
答 島内におけるAEDの設置状況については、徳之島地区消防組合のホームページに設置個所の一覧が掲載されていますが、「天城町防災アプリ」で確認することが出来る。

天城町内については、28カ所に31台設置されており、庁舎及び各学校や保育所、民間宿泊施設・介護施設等に設置されている。購入方法について



役場庁舎内に設置されているAED

ては、役場や防災センターに設置しているものに関しては、リース契約しており、定期的なメンテナンスなども委託している。



奥好生
議員

町長の選挙公約について

問 兼久〳〵当部線の道路改修について。

答 町道兼久当部線につきましては、令和5年度国庫補助事業の防災安全交付金を活用し、舗装修繕事業費にて舗装工事を行ってまいります。

問 秋利神キャンパスパークの活用について。

答 現在、町民みんなが健康づくりできるグラウンドゴルフ場を主として整備する基本計画を策定中で、今年度中にいくつかの計画案をお示ししてまいります。

問 平土野地区の再生について。

答 〳〵人の流れを呼び込む〳〵という観点では、わっきやが市場やアートプロジェクトなどで人の流れが少しずつ多くなってきたっております。

本年度は〳〵平土野アトまち歩き事業〳〵や浜を利用したビーチバレー大会を計画いたしております。

また、先日、民間事業者による〳〵伝泊カフェ&オフィス〳〵がオープンし、平土野における事業展開の発表がなされました。町としても、



平土野商店街に完成した伝泊 Cafe & Office

支援できることはしっかりと支援していきたいと考えております。

問 「稼げる施設」の体制について。

答 本町においては、先般4月29日「水産業振興拠点施設『うおつちよ』」がオープンし、1ヶ月あまりが経過したところです。

提供メニューを増やしていく課題はありますが、原材料である魚の買い入れも多く、漁業者の所得向上、水産業の振興に寄与する施設となりつつあります。

今後、学校給食センターや直売所の建設がいよいよスタートし、数年後には完成いたします。

給食センターでは、現在も地元食材の活用に努めているところですが、新たな施設の完成を機に、更なる地元食材の活用を図ってまいります。

直売所についても、早い段階から出品する生産者を募り、組織化するなど準備を進めてまいります。

既存の山猪工房も含め、このような施設は、地産地消の推進、農林水産業の振興にもつながりますので、消費者や生産者に喜んで頂けるような施設運営を目指していきたいと考えております。

問 人材教育について。

答 選挙公約で「町の将来を託せる人材の育成」を掲げており、職員の資質向上のため、個々のキャリア開発と人材育成に必要な職場環境づくりに一層積極的に取り組み、人が「育つ」職場環境を整えてまいりたいと考えております。

特に女性職員の登用推進の観点も踏まえ、幅広く柔軟に勤務機会の付与を行うことが必要であると感じてお

り、令和5年3月には第2次男女共同参画基本計画を策定しました。

今年度は「男女共同参画元年」として女性が活躍できる職場環境の形成を目的として、今年度から女性職員を対象とした研修も実施してまいります。

問 学校施設整備について。

答 学校施設の整備を円滑に行えるよう令和4年度に学校施設整備基金を設置いたしました。

現在、4億6千万円の積立金がございますが、この基金だけでなく補助金や地方債を最大限に活用し、計画的に学校施設の整備を行ってまいります。

北中学校の施設管理について

問 国旗掲揚台のポールの現状について。

答 北中学校の国旗掲揚台につきましましては、ポールが傾いており、安全対策のため、速やかに対応します。

問 体育館内部の現状について。

答 北中学校体育館内部の現状につきましましては、野鳥等が進入していますので、進入防止対策を速やかに実施します。

問 志の塔内部の現状について。

答 北中学校正面玄関右手にある、志の塔内部につきましましては、体育館同様、塔の内部に野鳥が進入しています。野鳥等が入れないよう対策を速やかに実施します。

問 特別教室のクーラー設置について。

答 北中学校の特別教室のクーラー設置について、6月補正にて音楽室への設置予算を計上しています。今後、計画的に他の特別教室への設置を検討してまいります。

問 校舎玄関前のバリアフリーについて。

答 北中学校、校舎玄関前のバリアフリーについては、構造物があるため、車イス等が入りにくい状況となっております。その構造物を取り除くなど、速やかに対策を講じてまいります。

問 プールの現状について。

答 北中学校のプールにつきましては、ろ過機等の故障により現在使用していません。なお、生徒の水泳学習においては、B & G 海洋センターの施設を利用しています。

問 テニスコートの現状について。

答 北中学校のテニスコートにつきましても、現在使用していません。生徒の部活動においては、基準コートでの練習が望ましく、総合運動公園内にあるテニスコートを利用し、練習を行っております。テニスコート敷地について、今後、有効活用できるよう検討してまいります。



島 和也
議員

問 海岸線の歩道整備について

問 海岸線を利用する電動四輪車が近年増えています。平土野の信号から神田運送店近くまでの歩道を大きく整備出来ないか。

答 町道平土野三号線の車道を電動四輪車が走っているのはよく見かける。交通量の多い道路なので危険だと思っている。植栽のシャリンバイを撤去して幅員を広げて歩道の路面を整備することは可能だと思うので検討します。



歩道にある植樹帯

問 神田運送店近くまでの植栽でデイゴの木が大きく成りすぎて幹が縁石を壊してるので移設できないか。

答 デイゴの木は幹が大きい物が23本ほどあり縁石を壊し



幹が大きくなったデイゴの木

て歩道の路面がでこぼこしているのは承知している。適当な移設場所があれば移設は出来ると思う。移設には多額の予算がかかるので移設するには何か良い事業がないか考えて検討する。

問 海岸線で西郷橋近くより

空港入り口までに「コクタン」の木が有り歩行の邪魔になっているのでヤシの木へ植え替えることが出来ないか。

答 現在、空港入り口から海洋館付近まで植樹帯に街路樹

として「コクタン」を約80本植えてある。「コクタン」は成長が遅く幹回りが太くなりにくい樹木で街路樹としては適していると考えるので植え替えはせず、歩行者や車の通行の邪魔にならないように適切な管理に努めたいと考えるのでヤシの木への植え替えは考えていない。

自然と伝統文化体験館と周辺施設整備について

問 あまぎ自然と伝統文化体験館は令和7年の完成に向けて工事進行中ですが今後、併設して道の駅的な来島した観光客等を常時集客出来る施設を作る構想は無いのか。

答 建設を進めている「あまぎ自然と伝統文化体験館」は3千名の収容が出来ます。その中には農産物やその加工品の販売所も計画している。この施設が完成すれば「山猪工

房」の猪肉、「うおつちよ」の海産物を合わせて海、畑、山の特産品がそろうことになる。この三施設そのものを観光スポットとして有効活用していきたいと考えているため道の駅のような施設整備は考えていない。

問 闘牛大会やイベントなどで来館する方々への駐車場問題について。

答 車時代の中で闘牛大会や各種イベント開催時には駐車場の確保は常に検討しなければならぬ課題である。この事業を通して駐車スペースは確保するが今後の周辺整備も併せて用地の購入なども検討して進めていく。

問 獣肉処理施設「山猪工房」でそのお肉を使ってジビエ料理を提供する食堂を併設出来ないか。

答 「山猪工房」、「あまぎ自

然と伝統文化体験館」、「うおつちよ」の三施設は本町の特産品を網羅した一体の施設だと考えています。全体的な構想の中での活用を検討し、「うおつちよ」の中でもジビエ料理として提供出来るのではと考えている。

問 捕獲した野生イノシシの仕入れ体制について。

答 現在、2名体制で運営しており猪を捕殺後1時間以内の成獣を買い取っている。猟友会と協議を行ないこの運営の見直しを図り他町よりの購入も考えていく。令和4年度の買い取りは68頭で95万3千6百円、町全体での尻尾買い取りは376頭、徳之島町は680頭で伊仙町は210頭。手数料は町内が5千円、町外は1万円なので手数料の見直しも今後は買い取り頭数の増加を進めて自立した施設運営が図れるようにしていく。

問 先日オープンした「うおつちよ」の今後の発展性や周辺整備について。

答 漁業者の所得向上を第一に考え、地域の活性化を目的に水産業振興拠点施設「うおつちよ」を開設した。地場産魚を町民や観光客へ提供する事により漁業の振興に繋がると思う。ふるさと納税やネット販売も視野に入れ商品開発を行なっていく。看板作成は今議会に補正にて提案しており、敷地の舗装に関しては9月議会での補正に計上する予定なので今暫く未舗装での営業になる。





平岡 寛次
議員

建設行政について

問 集落環境整備事業について。

答 『住んでよかった。暮らし満足度ナンバーワンの町』を目指して各種事業を進めています。

集落環境整備事業もその一環であり、集落からの要望や巡回（パトロール）等を踏まえて、緊急性・必要性や地域性を調査検討して、事業を行っている。

巡回パトロールで気付かない点もございますので、また、ご意見をたまわりたいと思う。

社会教育行政について

問 各スポーツ連盟の活動支援について。

答 本町の各スポーツ連盟は、体育協会に19団体、スポーツ少年団に11団体あり、それぞれ地区大会や各種大会への派遣費補助や活動費の支援を行っている。

今後もスポーツ活動の振興、青少年健全育成の活性化を図るため、より効果的な支援を考えている。

町政運営について

問 人口減少対策と子ども子育て支援について。

答 人口減少に関する対策については、現在、移住の施策を重点的に展開しており、都市部における移住相談会への参加、オンライン移住相談、山海留学制度、UIターン者への支援の拡充など、取

り組みを強化しており、本町への移住者も増加傾向にある。引き続き、移住・定住施策を積極的に推進するとともに、働く場の創出、結婚や出生者数の増加に繋がるような支援を展開し、人口減少に歯止めをかけていきたいと考えている。

子ども・子育て支援については、現在、町独自の支援として出産祝い金や保育料の無償化、学校給食費の無償化、児童医療費助成、保育所や公園の遊具整備など様々な支援に取り組んでいる。これから更に、子育てしやすいまちの実現に向けて努める。

問 平土野港多機能港湾新設の進捗について。

答 平土野港多機能港湾新設については、期成同盟会を設立していますが、コロナ禍の影響で昨年は会議等が開催できなかった。

このような中、今年1月に森山裕衆議院議員と国土交通省の港湾局長が平土野港を視察された。その際、塩田県知事に要請した平土野港多機能港湾新設の概要についてお伝えし、その後2月には九州地方整備局鹿児島港湾・空港整備事務所長が来庁し、平土野港についての意見交換がなされた。

新型コロナウイルスの感染症法の位置づけが5類相当に移行したことも踏まえ、改めて県への要請活動や期成同盟会の皆様との議論に取り組んでいく。





柏木 辰二
議員

建設行政について

問 県道伊仙・天城線で愛心園入口から兼久小学校へ向かう通学路にまだ改善されていない冠水箇所があるが、早急な対応はできないか。

答 県によると、『雨天時の状況や道路路面以外から集まる水の流域を確認し、限られた予算で効果的な対応を検討したい。』という回答いただいております。県の対策を待ちたいと考えています。



農政について

問 園芸作物（サツマイモ・かんきつ類）の病害虫駆除対策の効果はどうなっているのか。今後の対策をどう考えているのか。

答 サツマイモについては、アリモドキゾウムシやイモゾウムシ、かんきつ類については、カンキツグリーニング病やゴマダラカミキリムシが大きな問題となっている。カンキツグリーニング病については、今年度より島内においては根絶確認調査を実施している。早ければ、来令和6年には根絶宣言となる。

ゴマダラカミキリムシについては、平成23年度より成虫の買取、平成30年よりバイオリサカミキリスリム薬剤の助成を行っている。今後も引き続き根絶に向けた取り組みを進めていく。

新型コロナウイルス接種について

問 いくつかの自治体では子どもへのワクチン接種に慎重な対応がなされているが、本町ではどのように対応したのか。また、今後の対応はどのようなになっているのか。

答 本町での対応については、ワクチン接種を受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持った上で、ご本人の意思に基づいて判断していただき、保護者の同意と立ち会いのもとに行っている。今後の対応については、引き続きご本人や保護者への説明を行い、同意と立ち会いのもとに実施していく。



政治運営について

問 防災センター工事における交付金返納事件の裁判は3月定例会以降どうなっているのか。

答 天城町防災センター未竣功工事に関する住民訴訟は、3月定例会以降5月24日に第7回公判が鹿児島地裁で行われた。次回第8回公判は、7月19日に行われる予定。

この件につきましては、これまでもお答えしてまいりましたが、真摯に対応していく考えである。

問 この裁判による職員の職務への影響はないのか。

答 天城町各種事故事案再発防止対策会議を定期的に開催するとともに、法令遵守に努めるよう職員の指導を行っている。職員研修等を通じて職員の資質向上を図り、信頼回復に努めていく。



久田 高志
議員

予防接種について

問 各種ワクチン接種助成状況はどのようになっているか。

答 各種ワクチン接種助成状況については、小児の（定期）予防接種の全額助成、小児（任意）予防接種及び高齢者の（定期）予防接種の一部助成を行っている。新たに4月1日より20歳未満を対象とした「天城町骨髄移植等の医療行為に係る任意予防接種費用助成」、50歳以上を対象とした「天城町带状疱疹ワクチン任意予防接種費用成」を開始いたしました。

問 带状疱疹ワクチン接種に関わる注意事項、補助額、接種可能な医療機関はどのようになっているか。

答

種別	接種回数・接種方法	発症予防効果	接種費用	接種が勧められる方	接種できない方	助成額 助成回数	接種可能な医療機関
乾燥弱毒性水痘ワクチン（ビケン） 生ワクチン	1回・皮下注射	●50歳以上で約70% ●70歳以上で約50% ●5年間程度持続	約7,000円～10,000円／1回 （施設により異なる）	●水痘にかかったことのある50歳以上の方 ●带状疱疹にかかったことのある50歳以上の方 （水痘、带状疱疹にかかったことがあるか分からない場合も接種可）	●水痘ワクチンにアレルギーがある方 ●重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方 ●妊娠されている方 ●免疫機能異常のある方 ●免疫力抑制をきたす治療を受けている方	5,000円 1回	●いなだ整形外科クリニック ●徳之島診療所 ●あまぎユイの里医療センター
乾燥組替え带状疱疹ワクチン（シングリックス） 不活化ワクチン	2回・筋肉内注射	●50歳以上で約97% ●70歳以上で約90% ●9～10年間程度持続	約20,000円～30,000円／1回 （施設により異なる）		●带状疱疹ワクチンにアレルギーがある方 ●重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方	10,000円 2回	●いなだ整形外科クリニック ●あまぎユイの里医療センター ●徳之島徳洲会病院 ●宮上病院 ●伊仙クリニック

※事前に医療機関へ予約し、保健センターへ助成申請の手続きをしていただく必要があります。

助成額、助成回数については、今後状況をみながら改革できればと思う。

農政について

問 肥料、飼料、生産資材等価格高騰への対策（国、県、町）はどのようになっているか。

答 肥料、飼料を始めとする農業資材の大幅な値上げは、農家への大きな負担となっている。国においては、肥料価格高騰対策事業として化学肥料の2割低減に向けて取り組み農業者に対して、肥料費の上昇分の7割を支援金として交付している。

県においては、国の事業に1・5割を上乗せして肥料価格高騰緊急支援事業を実施している。配合飼料においては、国・県がそれぞれ配合飼料価格安定制度における緊急対策支援を行っています。町においては、地

方創生臨時交付金を活用し、農業資材クーポンを発行し農産物生産コスト支援事業を実施した。

今年度は新たに、飼料作物の土壌改良資材助成を開始した。

今後とも国、県の動向を注視し、農家への支援に努めていく。

問 農家支援対策として金融機関（ＪＡ等）と協議し低金利融資（据置期間）の創設、行政としては利子補給等の支援は検討できないか。

答 以前に利子補給の補助事業を実施した経緯がある。農協にも支援策を模索いただいている。制度としての確約はできないが、ぜひ実現できるようにＪＡとも協議し据置期間等も含め連携を取りながらすすめて行きたい。

政治姿勢について

問 住民訴訟の内容と経過についてどのようなになっているか。また今後の対応はどのように考えているか。

答 天城町防災センター未竣工工事に関する住民訴訟は、3月定例会以降、5月24日に第7回公判が鹿児島地裁で行われた。次回第8回公判は、7月19日に行われる予定です。この件につきましましては、今後も真摯に対応していく考えである。



平山 栄助
議員

教育行政について

問 学校給食センター新築工事の進捗状況について。

答 令和2年度に「天城町学校給食センター建設検討委員

会」を設置し、今年度は土地取得・基本計画・基本設計の策定を予定しております。令和6年度に実施設計から着工、令和7年度中の完成、令和8年度からの運用開始を目指しております。

問 令和4年度の予算執行不適切な事務処理の今後の対策について。

答 この事務処理については原因等を把握し、再発防止に向けて教育行政の責任者として今まで以上に職員への指導



現在の学校給食センター

を行ってまいります。

問 教育環境整備における事務処理について、教育長として監督責任をどのように考えているか。

答 各学校において予定していた備品購入ができず教育環境整備に支障をきたしました。このような結果になりました。今後このような事が起きないためにも、教育行政の責任者として具体的な監督責任を後もってお示しいたします（定例会最終日に教育長の給料月額1カ月間、10%を減額する議案が追加上程され、原案可決されました）。

問 各小中学校の通学路の安全点検がなされているか。

答 通学路の安全点検につきましては、各学校で独自に実施しております。今年度は8月頃に合同点検を実施する予定です。

問 北中学校体育館新築について。

答 第6次天城町総合振興計画及び天城町学校施設長寿命化計画に則り、長寿命化改修・立替え等整備計画を進めてまいりたいと考えております。

建設行政について

問 与名間集落内の県道の未完了部分についてどのような状況になっているのか。

答 県によりますと「現所有者と相続人との間で遺産分割協議において解決ができなかったことから、土地取得ができずボトルネック箇所として残っているところであります。状況に変化があれば事業化を目指したいと考えています」。町としましてはこの土地の相続、協議について協力できる事があれば協力していきたいと考えております。

問 与名間集落から西阿木名集落にかけて県道歩道内側にガードレールの設置が必要と考えていますが、今後の計画がないのか。

答 徳之島事務所管内においても合同点検後、点検箇所の路面標示や路側柱の設置など対策に取り組んでいます。ご要望の箇所においては通学路の安全確保の観点から県へ予算化を要望したい。

問 町道、農道の管理が適正に行われているか。

答 町道の管理につきましては、道路脇の草木の伐採作業、倒木の撤去や路面陥没補修など町道維持管理に努めております。農道の管理については、多面的機能支払交付金事業を活用し道路及び水路の除草、泥上げ管理を行っております。

町長の行政運営について

問 職員の資質向上について。

答 「天城町人材育成基本方針」に基づきコンプライアンス研修や接遇研修のほか、役職ごとの研修を行ってまいります。今後のも全ての職員が高い倫理観を持ち、町民目線になって物事を考えまちづくりの担い手である意識を持つて行動できる職員を育成していきたい。

問 幹部職員の育成について。

答 幹部職員の育成につきましては、組織運営に必要なマネジメント能力や部下の育成、指導力の向上のため係長、課長補佐、課長研修など段階に応じた研修を実施し、育成に努めています。また今後は男女共同参画社会の実現に向けて新たに女性の管理職研修を実施するなど、女性の活躍を支える環境の整備に努めてまいります。

問 副町長の人事についてどのように考えているか。

答 これまで5年近く副町長不在の中で町行政を進めてまいりました。その間、課長並びに職員には負担をかけてきたと思います。副町長人事については熟慮しており考えがまとまった段階で提案させていただきます。



天城町議会
You Tube チャンネル

定例会の詳しい内容については、AYTにて当日の生配信及び後日の再放送、また、インターネット動画配信サイトYouTube(ユーチューブ)でもご覧いただけます。



第64回 奄美群島市町村議会議員大会

「徳之島地区における無電柱化の推進について」を提出

令和5年5月11日（木）、知名町文化ホール「あしびの郷・ちな」で第64回奄美群島市町村議会議員大会が開催されました。大会では、伊仙町議会経済建設常任委員長の樺山一議員による「徳之島地区における無電柱化の推進について」の他、6件の提案がありました。

〈 徳之島地区における無電柱化の推進について（要旨） 〉

令和2年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化計画」により国交省では、近年頻発する自然災害や高齢化等に、より一層対応するため令和3年度を初年度とする新たな無電柱化推進計画を策定し、主に新設電柱を増やさない。また、緊急輸送道路の電柱を減少させる。徹底したコスト縮減を推進し、限られた予算での実施延長をのばすこと。そして事業の更なるスピードアップを図るため、令和7年度までに約4,000 kmの新たな無電柱化に取り組む計画目標を示されました。

台風常襲地帯である奄美群島では、各地域において毎年台風による多くの被害をもたらしていますが、伊仙町においても平成30年台風24号では、住宅13棟の全壊、65棟の半壊、137棟の一部破損や畜産牛舎の損壊、電柱倒壊による道路の封鎖をはじめ、高潮による農地の浸食やさとうきびを中心とした農作物に甚大な被害をもたらし、国の激甚災害

に指定されました。水道や電気等のインフラは停止し、特に伊仙町におきましては発電所からの距離が遠いため復旧までに1週間以上を要するなど、改めて安心・安全な町民生活の実現を目指すための大規模災害に備えた対策強化を図るところであります。

また、令和3年7月には念願でありました「奄美大島・徳之島・沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録され、今後見込まれる観光入込客へ対応すべく、より一層の観光振興への取組みをはじめ、市街地の良好な景観形成を構築するためには無電柱化の推進は必要不可欠であります。

このようなことから、町民の生活の安定及び福祉の向上を図るための防災・減災、国土強靱化の実現を目指し、徳之島地区における電力線、通信線をまとめた電線共同溝方式による無電柱化の早期実現を要望するものであります。

美化活動

令和5年4月4日（火）
伊仙町犬田布岬で奉仕作業

徳之島三カ町議会議員連絡協議会による草刈り等を伊仙町犬田布岬で実施しました。



令和5年6月22日（木） 天城町 B&G 海洋センターで奉仕作業

天城町B & G海洋センターで6月25日（日）に開催される「第36回トライアスロンIN徳之島大会」を前に、天城町議会議員で草刈り等を実施しました。



令和 5 年 6 月定例会

番 号	件 名	結 果
報 告 1	令和4年度天城町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	
報 告 2	令和4年度天城町の債権の管理に関する条例に基づく不納欠損処分等の報告について	
議案第 29 号	天城町男女共同参画推進条例の制定について	原案可決
議案第 30 号	天城町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 31 号	天城町肉用牛特別導入事業基金条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 32 号	天城町税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 33 号	天城町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 34 号	天城町営農研修施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 35 号	天城町町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 36 号	天城町米山農道改良事業分担金賦課徴収条例を廃止する条例について	原案可決
議案第 37 号	天城町浅間かんがい排水事業分担金賦課徴収条例を廃止する条例について	原案可決
議案第 38 号	令和 5 年度天城町一般会計予算補正（第 1 号）について	原案可決
議案第 39 号	令和 5 年度天城町国民健康保険事業特別会計予算補正（第 1 号）について	原案可決
議案第 40 号	令和 5 年度天城町介護保険事業特別会計予算補正（第 1 号）について	原案可決
議案第 41 号	令和 5 年度天城町後期高齢者医療事業特別会計予算補正（第 1 号）について	原案可決
議案第 42 号	令和 5 年度天城町水道事業会計補正予算（第 1 号）について	原案可決
発議第 2 号	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書について	可 決
	議会運営委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	可 決
	常任委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	可 決
議案第 43 号	天城町長等の給与等の特例に関する条例の制定について	原案可決

◆ 編 集 後 記 ◆

令和 5 年 6 月定例会は 6 月 6 日から 6 月 8 日までの 3 日間にわたって開かれました。

一般質問は、9 名の議員が執行部に対し、29 件の質問（質問の要旨 67 点）を行い、それぞれの立場から行政運営について議論がなされました。大まかな内容は、掲載のとおりであります。

議員経験の浅い私は、定例会前には議会議員のバイブルである「議員必携」に目を通します。その中に「一般質問は、大所高所からの政策を建設的立場で論議すべきである。能率的会議運営が必要なことを十分理解して簡明で、内容のある次元の高い質問を展開すべきである。質問内容が単なる事務的な見解をただすに過ぎないもの、制度の内容の説明を求めるもの、議案審議の段階でただせるものなどは、質問として適当ではない。」とあります。

過去の議会においては、議会で質問しなくても、普段職員に聞いて済むような数値やデータ、金額等を聞くだけの質問もあったような気がします。また、執行部においては答弁に行き詰まる場面も度々あります。

議会議員も執行部の皆さんも、また町民のみなさんもお互いがそれぞれの分野で切磋琢磨して頑張れば、みんなが幸せな町もそう遠くはないと思います。

町民から興味と関心をもってもらえる議会・議員を目指して、議会だよりの編集に臨んでいます。

今後とも議会だよりをご愛読くださるようお願い申し上げます。

議会だより編集委員会

奥 好生

発行／鹿児島県 天城町議会
編集／天城町議会だより編集委員会

〒 891-7612 鹿児島県大島郡天城町平土野 2691-1
TEL (0997) 85-3111 FAX (0997) 85-3110
<http://www.yui-amagi.com/>